

賛 助 会 員

有限会社浜野顕微鏡 (〒113-0033 東京都文京区本郷 5-25-18)

株式会社ヤクルト本社研究所 (〒186-8650 東京都国立市谷保 1796)

神協産業株式会社 (〒742-1502 山口県熊毛郡田布施町波野 962-1)

理研食品株式会社 (〒985-8540 宮城県多賀城市宮内 2-5-60)

マイクロアルジェコーポレーション株式会社 (〒500-8148 岐阜県岐阜市曙町 4-15)

共和コンクリート工業株式会社 (〒060-0808 北海道札幌市北区北 8 条西 3 丁目 28 札幌エルプラザ 11 階)

(株) 環境総合テクノス (〒541-0052 大阪府大阪市中央区安土町 1-3-5)

(株) 日本港湾コンサルタント (〒140-0031 東京都品川区西五反田 8 丁目 3 番 6 号)

ご投稿をお待ちしています

和文誌「藻類」は皆様の原稿で成り立っている雑誌です。原著論文のみならず、総説やその他の報文（記事等）のご投稿もお待ちしています。ご投稿に際しましては、投稿案内(2013 年 3 月 27 日改正)をご覧ください。 (編)

編集後記

引き続き、和文誌藻類の編集委員長を仰せつかりました。1 年間だけの延長ですが、どうぞ、よろしくお願いします。

和文誌藻類では「原著論文」、「藻類学最前線」および「その他報文」のメイン記事のほかに、大会要旨、大会報告および海藻目録などの季節的な特別記事を掲載しています。これまで記事が足りないっ！という事態に陥ったことはありませんが、今後とも、和文誌藻類へのご投稿、どうぞ、よろしくお願いします。

英語論文は世界中の研究者に読んでもらえる可能性があります

ますが、多くの日本人は自分の専門でないと読まない傾向があります。日本語論文ならペラペラと気軽に目にすることができ、しかも和文誌藻類なら 2 年後にネットでオープンになるので、より多くの日本人に自分の研究について広めることができると思っています。実際に私も海苔研究を掲載したところ、いろいろなレスポンスを頂けて、その中の 1 つから新しい共同研究が立ち上がっています。

東京大会では、暖かな風を感じながら皆さまにお会いできますことを楽しみにしております。是非、編集に関する忌憚なきご意見をいただければ幸いです。 (鳥田 智)

表紙 日本藻類学会第 40 回東京大会ロゴ

制作者：田中次郎（東京海洋大学）

制作者より：外側の 5 つの輪を藻類の 5 グループの遊泳細胞に、中心の円を紅色植物の生殖細胞に見立てて模式化しました。